



三つ巴(ヨーサヤ! ヨーサヤ!) [2016]

■ 城崎への想い ■

日本画家
山田
毅展

TSUYOSHI YAMADA

2016
10/8^{SAT} - 12/4^{SUN}

- 開館時間 / 午前9時～午後5時
 - 休館日 / 11/7(月)・14(月)・21(月)・28(月)
 - 観覧料 / 大人360(310)円、65才以上・高校生180(150)円、中学生以下は無料
- () 内は20人以上の団体割引料金。障がい者割引あり。

兵庫県立円山川公苑美術館

Hyogo Prefectural Maruyamagawakouen Museum of Art
〒669-6123 豊岡市小島1163 TEL.0796-28-3085 FAX.0796-28-3087
<http://maruyamagawa.com/>

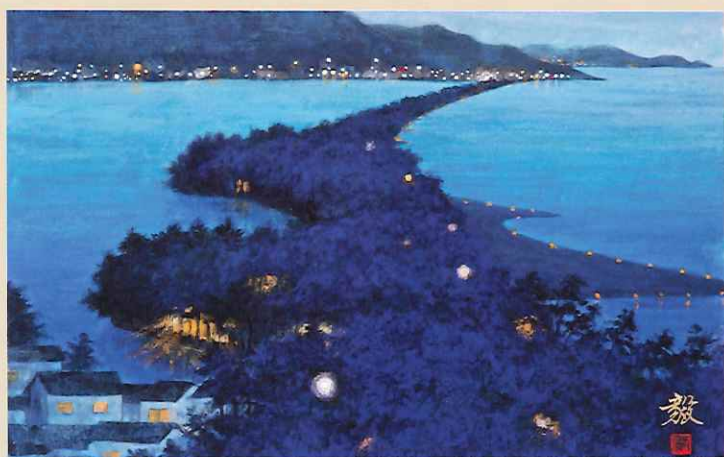


底引の網 [2004]

日本画家
■ 城崎への想 ■
山田 毅展
TSUYOSHI YAMADA



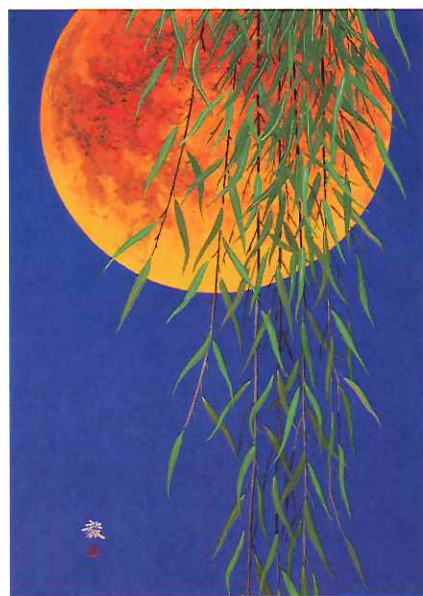
円山川緑季 [2016]



天橋立夕景 [2016]



龍宮城夕照 [2016]



城崎月柳図 [2016]

城崎温泉街にある伝統と格式ある四所神社(しよじんじや)の祭り「城崎だんじり祭り」は、200年以上前から続いています。この祭りは毎年、10月14・15日に行われ、城崎温泉街が熱く盛り上がります。観光客も多く参加します。そしてふる里を離れて暮らす城崎出身者たちも、この祭りのためにふる里に戻り、「城崎だんじり祭り」に参加するのです。日本画家山田毅も、「城崎だんじり祭り」が体にも心にも染みついていて一人です。

山田は昭和41年(1966年)に、城崎温泉「つちや旅館」の次男として生まれました。県立豊岡高校在学中から日本画家を志していました。金沢美術工芸大学日本画科に進学し、大学在学中の第20回日展で初入選を果たし、本格的に日本画家として歩み始めます。

以降、日展特選2回、全国公募展大賞・文部科学大臣賞などを受賞し、出品委嘱である日展準会員となり、日本画家として地位を確立しています。

山田の作品は、大胆な構成力と圧倒的な描写力、色彩の美しさにおいて見る者の心を捉えます。代表作の一つが平成16年(2004年)に日展で特選となった「底引の網」(石川県県立美術館所蔵)です。山田が子どもの頃、津居山漁港で見た網の思い出が根底にあります。今回特別に展示されるこの作品は、山田自身が故郷の人々に見てほしいという思いから、石川県立美術館に特別に要請し、出品が可能になりました。但馬で初めて最後の公開となるのではないのでしょうか。

また、この展覧会に合わせて制作された城崎だんじり祭りの一連の作品は、山田のふる里を想う気持ちがこもった力作です。

今回の展覧会は京都で創作活動続ける山田が、「城崎だんじり祭り」に合わせて、ふる里で開催することを強く望み実現しました。

但馬が生んだ日本画家山田毅の城崎への想いを感じていただければ幸いです。



竹田城 [2015]

兵庫県立円山川公苑美術館

Hyogo Prefectural Maruyamagawakouen Museum of Art

〒669-6123 豊岡市小島1163 TEL.0796-28-3085 FAX.0796-28-3087
http://maruyamagawa.com

